

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭46年度			
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	01 住民主体で進めるまちづくり
	小項目	施策	01 広聴広報
事務事業名 01 広聴事業			
根拠法令・例規等		備前市パブリックコメント実施要綱	
担当課(室)		総務課	
職・氏名		秘書広報係長・入江章行	
電話		0869-64-1800	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	意見や要望を述べたい、あるいは、市からの情報を得たい住民
目的(何のために)	より多くの市民等から意見を聞き、市民に役立つ行政事務事業に反映させる 【パブリックコメント】市民の市政への積極的で幅広い参加の機会を確保し、市民等の多様な意見を反映させた意思決定を行うとともに、市政運営における公正の確保と透明性の向上を目的とする
行政活動(どのような方法で)	あなたからのご意見箱、公共施設ご意見直行便(ハガキ)、ホームページからの問い合わせメール、手紙、電話、面接などにより意見・要望を収集し、質問には回答を実施 【パブリックコメント】当該政策等の趣旨、内容等を本庁および総合支所へ備え付け、市のホームページに掲載することにより公表し、これらについて郵便、ファクシミリ及び電子メールその他で提出された市民等の意見及び情報を考慮する 備前市政記者会に対して必要に応じ記者発表を実施
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	寄せられた意見、要望、苦情などから住民のニーズ、改善点を市政、事務事業に反映させる。その情報を提供するとともに、市民の声についての情報共有を行う より多くの意見を収集することにより、市政の充実を図り市政への参考となるようにするとともに苦情が解決するようする

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
ホームページからのお問い合わせ	件	235	228	214	
あなたからのご意見(手紙含)	件	27	14	3	
公共施設ご意見直行便	件	4	9	15	
パブリックコメント募集案件	件	-	3	3	
事業費					
直接事業費	千円		17	18	
必要人員人件費	千円	0.16人	1,329	0.04人	464
事業費計		1,329	417	482	
財源					
国・県支出金	千円				
受益者負担金					
繰入金					
市債					
その他					
一般財源		1,329	417	482	
受益者負担比率	%				

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
総意見件数	説明	ホームページからの問合せ、あなたからのご意見、公共施設ご意見直行便の合計件数		
結果指標量	件	266	251	232
対前年比	%	-	94.4%	92.4%
活動コスト	円	964,000	217,000	389,000
単位当たりコスト	円	3,624	865	1,677
パブリックコメントの募集案件	説明	パブリックコメント		
結果指標量	件		3	3
対前年比	%		目標	100.0%
活動コスト	円		30,000	93,000
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	10,000	31,000

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
市民1%当りの意見、提案、要望の件数の割合	目標値(A)	85	85	85	85
	実績値(B)	65	63	59	到達目標年度
	達成率(B/A)	76.5%	74.1%	69.4%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
(意見・提案を行った件数) ÷ (市民 × 1%) × 100					

事業の目的、対象、内容等を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	A 判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 特にパブリックコメントは政策等へ多様な意見を反映させるため重要	市民の市政への積極的で幅広い参加の機会を確保するとともに、さまざまな改善につながることは重要である。
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B 判定理由・課題認識	
	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	ご意見箱(あなたからのご意見)・公共施設ご意見直行便・メール等ご意見などの媒体を利用した広聴を推進し、効率化を図る。HP他の意見等は、秘書広報係(広報係計係)を紹介したものとみえて232件と多数であり、今後も市民等からの意見は増加すると考えられる。なお、ホームページからのメール問い合わせは直接担当部署に届いているものと同様に届くほうが対応がより早くなるのでさらに改善の余地がある。パブリックコメント制度を広聴に統合した。
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	B 判定理由・課題認識	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	ご意見箱(あなたからのご意見)・公共施設ご意見直行便・メール等ご意見などの媒体を利用した広聴は有効である。パブリックコメントは平成20年度も前年と同じ3案件で、寄せられた意見は4件であった。市政運営における公正の確保と透明性の向上のためにも周知に努め多くの意見を求めていく。

平成21年度の状況			
目標値	結果指標量	結果指標量	成果指標量
	250	3	70
状況	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了		
説明	平成20年度から「パブリックコメント制度推進事業」を広聴事業に統合し、「パブリックコメント対応事務」としている。		

総合評価		評価区分 <A-E>
市民からの意見は、要望、苦情が大半を占めている。18年度から行っている「市民意見調査」による自由意見は日頃直接声を発しない市民からの意見が寄せられており、広聴事業として寄せられる意見はほんの一部であると感じる。今後は、協働のまちづくりの実現を目指すためにも、庁内はもとより、市民との公共の分野に関する情報を共有できるようにしていく。 【パブリックコメント】20年度は「高齢者保健福祉計画・第四期介護保険事業計画」(案)、「健康びぜん21・備前市食育推進計画」(案)、「第2期備前市障害福祉計画」(案)の3件について意見を求めた。意見は「高齢者保健福祉計画・第四期介護保険事業計画」(案)に対し4件であった。今年度は「都市計画マスタープラン」「財政再生プラン」「次世代育成支援行動計画」など重要案件のパブリックコメント募集が予定されているので引き続き周知に努める。		

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了					
説明	意見反映の機会拡充を図るため、「広報びぜん」に「市政に対するご意見直行便ハガキ(仮)」の折り込みを検討。					
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			
有効性	意見等の内容、回答等の情報を共有できるようにする。		情報を共有することにより、他部署においても意見が来る前に解決・対応が早くなることが期待できる。			
有効性	市民に対し、意見等の内容、回答等の情報を「よくある質問、Q & A」として公開する。		市民はそれを見れば解決する。同様の意見を受けずに済む。			